

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大強度陽子加速器施設 (J-PARC) の整備・共用		担当部局	研究振興局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成21年度～		担当課室	基盤研究課量子放射線研究推進室		量子放射線研究推進室長 原 克彦	
会計区分	一般会計		施策名	IX-2 科学技術振興のための基盤の強化			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人日本原子力研究開発機構法第17条第2項 特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律		関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	世界最高レベルのビーム強度を有する大強度陽子加速器施設(J-PARC)により、多彩な二次粒子を用いた新しい研究手段を提供し、物質科学、生命科学、原子核・素粒子物理学など、基礎科学から産業応用までの幅広い研究開発を推進する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律(以下「共用法」という。)」の対象であるJ-PARCの中性子実験施設について、施設の整備や全体の機器等の試験運転を実施する。平成23年3月の東日本大震災により被災し、運転を停止したが、早期復旧に向けた取組により、平成24年1月に運転を再開するとともに、中性子線施設が共用を開始した。 幅広い分野の研究者等による利用を促進するため、共用法に基づき登録された施設の設置主体とは別の第三者機関である登録施設利用促進機関が、施設利用研究を行う者の選定(利用者選定業務)を実施するとともに、利用者に対する情報提供・相談・その他J-PARCを利用する上で必要な支援(利用支援業務)を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	500	1,957	7,013	8,563	10,730
		補正予算	2,040	278	▲ 375	-	-
		繰越し等	▲ 1,858	▲ 43	1,902	-	-
	計	682	2,191	8,540	8,563	10,730	
	執行額	682	1,786	8,484	-	-	
執行率(%)	100.0%	81.5%	99.3%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	成果の活用状況	成果実績	件	-	-	※J-PARCは、平成24年1月から供用開始したため、まだ定量的な成果実績について記載が困難	
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設運転時間	活動実績 (当初見込み)	時間	-	3401	888 (震災による減)	-
					-	(3168)	(4224)
単位当たり コスト	408(千円/運転時間1時間/1ビームライン) ※震災による増		算出根拠	単位当たりコスト=23年度運営費(5,802百万円)/23年度運転時間(888時間)/ビームライン本数(16本)			
平成24・ 25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	特定先端大型研究施設運営費等補助金	7,821百万円	8,323百万円	「重点要求」(科学技術イノベーション・情報通信戦略分野)766百万円			
	特定先端大型研究施設整備費補助金	40百万円	1,606百万円				
	特定先端大型研究施設利用促進交付金	702百万円	801百万円				
	計	8,563百万円	10,730百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は、第4期科学技術基本計画の「共通の、基盤的な施設及び設備の高度化」及び「先端研究施設及び設備の整備、共用促進」においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	日本原子力研究開発機構、総合科学研究機構から委託・請負契約にて支出する業務において、大部分は一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。 総合科学研究機構では、少額随意契約であっても、複数の相手先から見積もりを取って比較するなど、支出先の選定に当たっての競争性を確保している。 平成23年度は、東日本大震災により運転が停止していたため、単位当たりコストが高くなった。 総合的に、適切な運営が図られている。 経費の執行については、事業年度毎に実績報告書等において、支出先・使途の把握、経費の使用状況等の確認に努めている。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	研究者等のニーズへのきめ細かな対応を行うべく、共用法に基づき、施設設置者・登録施設利用促進機関を対象とした補助事業として実施しており、実効性の高い事業となっている。 平成23年度は、東日本大震災により被災し、運転を停止し、早期復旧に向けた取組を行っていたため、活動実績が低下しているが、平成24年1月に共用を開始し、広く研究者等の活用に使われている。 当該事業で整備している中性子線施設については、共用法に基づき、幅広い分野の研究者が利用できるよう、ホームページに掲載するなどの工夫を行っている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	入札の競争性を高めるため、電子入札の導入や競争参加資格の拡大等を通じて、より多くの機関が入札可能な仕組みに改善するなど、継続的な工夫を続けていく必要がある。今後も、効果的・効率的な運営を図り、震災による研究の遅れを取り戻すと共に、J-PARCの共用の更なる促進に努める。		
一部改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、共用法に基づき、世界最高レベルのビーム強度を有する大強度陽子加速器施設(J-PARC)の整備・共用を実施する独立行政法人向け及び同法に基づく登録機関向けの支出である。</p> <p>2. 所見: 本事業は、平成22年度レビューの指摘を踏まえ、平年度化に伴う運営費の増を除き、予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き、更なる事業の効果的・効率的な実施を目指し、積算内容を見直すなどコスト削減に努めるべきである。また、契約に当たっては1者応札や競争性のない随意契約となっている案件が見受けられることから、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	施設運営について効率化を図ることにより概算要求に▲88百万円反映した。また、引き続き、仕様書の要件の精査の徹底等、契約の競争性、公平性、透明性を確保に努める。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
【参考: J-PARCホームページ】 http://j-parc.jp/			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0253	平成23年行政事業レビュー	0240

※平成23年度実績を記入

文部科学省
8,484百万円

特定中性子線施設(J-PARC)について、「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律」に基づき、その整備および共用の促進を図る。
(特定先端大型研究施設運営費等補助金:5,802百万円
特定先端大型研究施設整備費補助金:2,047百万円
特定先端大型研究施設利用促進等交付金:634百万円)

A. (独) 日本原子力研究開発機構
7,850百万円

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

特定中性子線施設運営
5,802百万円

特定中性子線施設整備
2,047百万円

特定中性子線施設(J-PARC)の運営

特定中性子線施設(J-PARC)の施設整備

C. 業務請負: 企業等(全132機関)
1,758百万円

J-PARCの運転等

B. (財) 総合科学研究機構
634百万円

特定中性子線施設(J-PARC)に係る課題の選定を実施するとともに、利用者への支援を実施する。

D. 業務請負: 企業等(全11機関)
36百万円

J-PARC課題管理システムの改修作業及び電気設備の設置・配線作業他等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本原子力研究開発機構	特定中性子線施設(J-PARC)の運営・施設整備	7,850	— ※1	

※1 補助金のため記載不可

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	総合科学研究機構	特定中性子線施設(J-PARC)の利用促進・利用支援	634		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本アドバンステクノロジー(株)	J-PARC施設機器運転及び維持改善業務、J-PARCセンター物質・生命科学実験施設運転監視業務請負契約等	349	— ※	—
2	原子力エンジニアリング(株)	リニアック棟他機械室運転保守業務請負契約、原子力科学研究所変電所等運転保守業務請負契約等	165	— ※	—
3	三菱電機システムサービス(株)	J-PARC加速器のビーム運転及び維持管理業務、J-PARC加速器の安全インターロックシステムの定期点検等	151	— ※	—
4	大陽日酸(株)	低温水素システム据付調整点検作業、低温水素システム屋外配管・タンク等点検作業等	100	— ※	—
5	東京ニュークリア・サービス(株)	J-PARC放射線管理業務	64	1	—
6	八洲電機(株)	パワーコンピュータ設備ITVシステム点検調整、スーパーミラー成膜装置の点検・保守等	62	— ※	—
7	(株)フジタ	前置遮蔽体保守点検、ボロンモルタル遮蔽体経年変化調査等	56	— ※	—
8	菱和工業(株)	3NBT上流側冷却塔点検保守、MLFTレンヂ周り配管点検作業等	50	— ※	—
9	富士電機(株)	放射線安全管理設備定期点検作業、切断装置設置作業等	46	— ※	—
10	ネットワンシステムズ(株)	J-PARC東海地区情報基盤システム運用支援、J-PARCネットワーク用機器の保守等	45	— ※	—

※当該機関は複数の業務を請け負っているため、記載不可。

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JPC(株)	J-PARC課題管理システムの改修作業等	9	— ※	—
2	日本アドバンステクノロジー(株)	電気設備の設置・配線作業等	5	随意契約	—
3	三菱スペース・ソフトウェア(株)	J-PARC利用者支援システムの改修作業等	5	— ※	—
4	(株)協英	ネットワーク・電源・電話設置等	5	随意契約	—
5	(株)ビジフルインフォメーションセンター	中性子散乱実験装置状態表示ソフトウェアの作成	4	3	—
6	(有)白井電気	電気配線作業等	2	随意契約	—
7	(株)喜本管工	実験室水道設備設置作業等	2	随意契約	—
8	(株)リンクス	Webサイト改修作業等	1	随意契約	—
9	(株)アート科学	換気フード設置作業	1	随意契約	—
10	(株)リガク	中性子実験試料用XRD解析装置の移設等	1	随意契約	—

※当該機関は複数の業務を請け負っているため、記載不可。